

2021年7月15日

～QB 第二号投資事業有限責任組合（QB 第二号ファンド）～ 「株式会社 Vetanic」への出資について

QB キャピタル及び NCB ベンチャーキャピタルが共同で運営する、QB 第二号投資事業有限責任組合（以下、「QB2 号ファンド」）は、2021年7月15日付で、第1号投資案件として、株式会社 Vetanic（以下、「Vetanic」）へ出資を行いましたのでお知らせします。

Vetanic は、日本大学 生物資源科学部枝村一弥 教授、久留米大学 医学部 動物実験センター塩澤誠司 准教授らが開発した、世界で唯一の臨床応用可能なイヌ iPS 細胞作製技術の事業化を目指す大学発ベンチャーです。また、科学技術振興機構（JST）の大学発新産業創出プログラム＜社会還元加速プログラム（SCORE）＞の成果により設立されました。

Vetanic は、イヌ iPS 細胞由来の間葉系幹細胞（MSC）をはじめとした各種再生医療等製品の開発を行っています。これら各種再生医療等製品により、動物再生医療の普及を促進し、より多くの動物たちへ健康で幸せな生活を提供し、さらに人々へも幸福を届けてまいります。

QB キャピタルは、枝村教授らを創業前より支援させていただき、この度出資に至りました。出資後も引き続き Vetanic をハンズオン支援していく所存です。

出資先企業の概要

会社名： 株株式会社 Vetanic
所在地： 東京都東京都港区浜松町 2 丁目 2-15
代表者： 代表取締役社長 望月 昭典
設立： 2021 年 1 月 8 日
事業内容： 動物用再生医療等製品の研究開発、製造および販売と、再生医療関連試薬の研究開発、製造および販売
URL： https://www.vetanic.com/

QB2 号ファンドについて

QB2 号ファンドは、九州地域の大学を中心とした大学の研究シーズ及びシード・アーリー段階の大学発ベンチャーを投資対象とした九州地域で初の産学連携ファンドである「QB1 号ファンド」の後継として 2021 年 4 月 30 日に設立されたファンドです。1 号ファンドに引き続き大学発ベンチャーの成長を支援するとともに、大学の研究成果の事業化による大学発ベンチャーの創出に取り組み、成長段階まで一貫通貫でハンズオン支援することで、大学の研究成果の社会還元を促進し、地域における新産業の創出を目指します。

【お問い合わせ先】 QB キャピタル合同会社 （担当：長浜）
住所：〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜 2 丁目 1-22 SRP センタービル 706
電話：092-832-6200
URL： http://qbc.co.jp